

30

1 (10月28日)

△新體制と選挙法改正

一、選挙法改正の急務(二十七日付日日)

政府は来る通常議會に選挙法改正案を提出する方針の下に大政翼賛會と連絡して立案を急いでゐるが、傳へられる政府案中特に注目される點は、議員定数を三百名程度に減少す

× × ×

△新體制と選挙法改正

一、選挙法改正の急務(日日)

一、推薦制を排す(報知)

△金融問題

一、金融界の整備を急げ(朝日)

一、政府の金融支配力(讀賣)

△資本と經營の分離(中外)

△英米人引揚げと東亞の清掃(國民)

△獨佛折衝と米國(朝日)

本日の新聞論調 (第六百五十三號) 内閣情報部 一五・二〇・二八(月) 二七(日)

内 容 目 次

る事、原則として一府縣一選舉區の大選舉區制を採る事、候補者の推薦會制度を設ける事等であるが大選舉區制への傾向は既に大勢の認める所としても、定員の減少と推薦會制度に就ては尙慎重な研究を要すると思ふ。定員を減少すれば議員の素質を向上し得ると云ふのが第一の理由らしいが、時局に照應して議會の機能低下といふ觀念から、定員の減少を當然と見るが如きは、國家總力戦下に於ける下意上達の意義を知らざるものと云ふべきである。吾等は定員減少に必ずしも反對ではないが特に其理論的根拠を明確にする必要ありと考へる。次に候補者の推薦會制度であるが其方法に就ては多くの案が考へられるも、要は一般大衆が待望する人物を出馬させ得れば、推薦會の目的の半は達せられたりすべきであり、推薦會の構成は此趣旨に則つて研究するべきものであらう。其他選挙法の改正に就ては根本的検討を要するもの多々あるが、此際徹底的の公營を實現すべく政府の勇断を求めてやまない。今や選挙法改正の問題を前にして議會と選管會の關係、選管會と選挙の關係等が一部に尙徒らに論議を重ねつゝあるは遺憾に堪へない。我等はかゝる現狀に關せずひたすら國民大衆の選挙精神を表現する選挙法が、早き機會に於て實現せられる事を望んでやまない。

一、推薦制を排す（二十八日付報知）

當局案では自由立候補制を排して推薦制度を採らんとしてゐるが斯の如きは現狀に於ては舊政黨人擁護を一步も出るものではない。↓

政黨の解消と共に政黨地盤も壊滅したなど早合點しては困る。善かれ悪かれ數十年にわたつて築き上げられた地盤は、地方人の宗教的信仰の域に達するもので政黨自體の名目的解消とは別個に微動だもせず極めて根強いものが存する。部落、町村など將來舉げらるべき推薦人の顔觸れを想像しても想ひなかに過ぎるものがある。又未訓練の下部組織にあつては推薦問題をめぐり徒らに紛糾を惹起せしめ折角助かに發足せんとする隣組制度を政争の渦中に迫込む危険が十分認められる。要するに當局案の推薦方法は舊政黨の既成地盤が完全に崩壊せられた時代における理想案であつて現段階においてはこれ程危険な制度はない。舊政黨人を喜ばす程度の「改革」では、選挙の新體制が明瞭な出来よう。かゝる點に對する官僚のお人好しは歴に戒めておきたい。

△金融問題

一、金融界の整備を急げ（二十七日付朝日）

全國金融協議會が攻究しつゝある金融界の新體制案が如何なる内容輪郭のものであるかは、未だ詳知し得ないが傳ふるところでは最近各方面の經濟團體から發表される經濟新體制案に於て金融部門が例へば運輸部門と並列的地位に置かれてゐることを金融の特質からして適當でないとし、全産業部門と連繫しつゝ其機能を十分に發揮し得るやうに獨特の機構を考へたいといふにあるらしい。一應尤も至極といはざるを得ない。金融界は嘗ての財

界王座から落ちるであらうといふことがよくいはれるが、それは自由経済的な形での産業支配といふ意味であつて、若し金融界がもたねばならぬ機能といふ點から見れば、其産業界に對する任務は依然として重大であり、其任務遂行の榮譽は益々大きいといはねばならぬ。此點について金融界が眞に自覺し、刻下の必要に應ずる體制の整備を急がんことを希望せざるを得ない。

一、政府の金融支配力（二十八日付讀賣）

大藏省預金部は二十五日與銀を通じて特殊會社債を賣入れた。預金部資金による起債界對策の一端であること勿論である。預金部が我國の金融上に占める位地は專變以來逐日重きを加へ、最近にはそれが著しく目立つやうになつた。九月三十日に金融緩和作業として預金部資金二億圓を放出し、それをもつて短資の供給證券會社背負込社債の買入れ、シ圓の社債前貸金の肩替を實行したこと、十月十五日に第四四半期に於る社債消化計畫が決定して發行額額の四割見當を預金部で引受けるやうになつたことなど其例である。政府は一方に於ては預金部を活躍させることにより、他方に於ては民間金融機關に對する統制を強化することによつて、金融支配力を存分に徹底させることができる仕組になつた。この事實は財界變調期に際し大なる意義を有するものであり、その運用によつて十分な効果をあぐるやう努力せねばならぬのは勿論である。

△資本と經營の分離（二十七日付中外）

大政翼贊會企畫局の企圖として傳へられる資本と經營の分離問題は、それ自體我國産業經營の根本に關する問題であり、是が實行の可否、手段方法の緩急及一般經濟界に及ぼす影響等に就ては深く考察を要するに非ざらぬ。翼贊會の企圖する所は所謂資本家乃至株主と之に對する經營者の職務關係を切離し、各業種別に優秀經營者を一つの理事機關に統合し、更に其構成員を大政翼贊會の機構の中に取り入れ經營者の任免權を資本家乃至株主の手から前記の理事機關へ移譲せしむるに在り。併し元來新體制の推進機關としての使命を擔ふ大政翼贊會が、もし其機構を通じて直接民間會社經營の實權を握るといふならば、單にそれだけでも實に容易ならぬ問題を含むのみならず、大政翼贊會の機構陣容を以て果して過剰なく此の重責に當り得る信念があるであらうか。まことに疑問なきを得ない。最近新體制運動の發展に伴ひ、諸外國就中ナチス獨逸からの輸入政策を思はしむる施策が少からず行はれてゐるが、是が爲に動もすれば我國獨自の實情を全く顧みざるが如きは、國家存亡の重大時局において眞に寒心に堪へざるものがある。

△英米入引揚と東亞の清掃（二十七日付國民）

最近英米兩政府は極東全面の在留同國人に對して引揚げを行はしめてゐたが、日本内地在留英人に對する引揚勸告をも英官邊に於て確認されるに至つた。併し彼等の意圖が如何な

るものにせよ我等は唯冷静に事態の推移を見守ればよい。引揚げる者を引揚げしめ去る者をして去らしめよ。既に外交政策は轉換して英米依存は明確に廢棄せられて居り、今更彼等に依る外貨獲得の如きは問題ではない。殊に彼等の大多數は極東を彼等の爲に植民地化する事に於て前進部隊であり。又東亞民族離間の第五部隊でもあつたのである。彼等が袖を連れて極東より退去する事は、期せずして東亞の清掃を完成することを意味する。アジア人のアジアは是に依て眞實の姿を示すべく、日本のアジアにおける指導的地位は、これによつて初めて名實を具備するに至るであらう。

△獨佛折衝と米國 (二十八日付朝日)

獨佛會談で歐洲平和再建問題に關し兩者間に完全に意見の一致を見た旨發表され、佛國は獨に對し、アフリカ植民地、シリアの各海空軍基地を提供し消極的に對英敵性を示すことになるを觀測されてゐる。又米國は逸早く、之に呼應して西半球内の佛領の諸島を占領せんとしてゐるこのムP通信がある。米國の占領が果して行はれるか否かは疑問であるが、もしそれがワイシー政府との合意なしに行はれるとすれば國際法蹂躪である。先の驅逐艦の對英讓渡や米加共同防衛協定その他と共に米國はすでに參戰状態に立至つて居り、對獨宣戰布告はもはや形式にすぎぬ。米國がもし佛領占領を敢行するとき假りに獨佛協定に對する反響を辨解するも一種の口實に過ぎまい。――

もし米國が強ひてそれに理窟を付けんとして援用する論理を他の非交戰國が逆用して英國の不利を齎すとも米國としては何等文句の唱へようがないであらう。獨佛新協定の骨子はなほ不明としても問題の重要性だけは指摘しておかねばならぬ。

△其他―(略)―「明治神宮体育大會」(二十七日付朝日、讀賣、報知)「教科書の選定と國定問題」(二十八日付日日)

外圍宣傳情報第一號

内閣情報部一〇・二九

一 重慶日本語放送（二十六日）

（東京都市遞信局聴取）

一、近衛は再登場してから、安南に侵入し南進行動に出で、近衛松岡は戦争を以て世界を恫喝した。そこで英米は對日物資禁輸を實施し、米國は中國に借款を與へ、ソ聯も對華政策をして援助を表示した。之は確に世界が日本の野心を知るからである。日本も遂に米ソに對し媚態政策を開始するに到つた。日本軍の安南侵入は英米の強硬なる態度を招き南進の妄想は中國の熾烈なる抗戰により破られんとして居る。日本が安南全部を占領せんすれば必ずや重大なる困難に逢ふべく、これより南進するに於ては更に困難は倍加するであらう。日本は軍需品の補給に虎視眈々蘭印を窺ひ、近衛成立の始め小磯を軍艦に乗せ陸戰隊を付して蘭印に派遣し軍事的壓迫を加へんとしたが米國の威勢に恐れをなし小林商相に代えたのである。小林はガソリン買入の談判を行ひ、一九日東京發UP電に依れば日蘭間に協定成立の可能性ありと報せられて居る一方同日ロンドン發に依れば高級ガソリンは全部英國が買占めて了つたと云はれて居り、小林は然も歸國した。日蘭の談判が停頓に陥つた事は最早疑なく、日本の南洋に於ける高級ガソリン獲得も水泡に歸したのである。……不明：日本は對華戦争の結息も出来ない状態であるから中國が勇敢なる抗戰を續けると云ふ事は